

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38021
事業名	医療関連産業集積促進費					
評価担当課	所属名	経)経済戦略推イノベーション				
	課長名	吉田 泰斗	担当者名	紙谷 康介	電話番号	011-211-2379
施策名	主	超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市内大学等の先進的な研究や取組を生かした医療関連産業の活性化と集積に向けて、関係機関とも連携しながらその土台構築を進めるとともに、新たな地域産業の創出と道外からの資金・人材・企業の誘致につながる環境整備を行う。			
		長期	医療を切り口として、新たな地域産業の創出と道外からの資金・人材・企業の誘致につながる環境をつくり、道外に流出する理系人材の雇用拡大を図るとともに、札幌の医療関連産業の活性化と集積を目指す。			
	取組内容	【目的】市内大学等の強みがあり成長が期待される「医療」を切り口に産業活性化・集積を図る 【内容】(1)異業種マッチング:医療機関・研究者等と企業との交流会実施等 (2)新分野開拓支援:バイオ分野、IT分野の融合領域のビジネスを模索するプラットフォーム「Sapporo BI Lab」の運営、医療分野への新規参入支援セミナー開催等 (3)医療・バイオ分野の起業家育成:起業家育成講座の実施				
実施結果	異業種からの参入支援として、札幌が誇る医療資源等を周知するための市民向けフォーラムや首都圏のライフサイエンスコミュニティと連携したセミナー、やITものづくり企業を対象としたニーズ発表会等を実施。起業家育成の取り組みとしては健康医療分野における起業促進のためワークショップ形式での社会人対象セミナーを行った。					
事業実施における工夫点	アカデミア・産業界・行政・地域のビジョン共有化に適した、札幌商工会議所設置の「産学官医療連携協議会」と連携のうえ、効果的な情報発信等実施。					
対象者	医療関連企業等	開始	平成30年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	健康・医療戦略推進法、次世代医療基盤法					
他都市の状況	神戸市「神戸医療産業都市」、川崎市「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」、山形県鶴岡市「鶴岡バイオサイエンスパーク」、福岡県「福岡バイオバレープロジェクト」、沖縄県などを中心に、国内でも医療分野の産業振興が試みられている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	9,709	16,000	11,581	25,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.2	1.2	1.2	1.2	
人件費	8,640	8,640	8,640	8,640	
計(事業費+人件費)	18,349	24,640	20,221	33,640	
事業費の内訳	令和3年度決算	(1)、(2)異業種からの参入支援:5,981千円 (3)起業家育成:4,945千円 その他事務費:656千円			
	令和4年度予算	(1)、(2)異業種からの参入支援:6,000千円 (3)起業家育成:3,000千円 (4)ポストインキュベーション調査:1,000千円 その他事務費:1,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	フォーラム参加企業・機関数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	425	595	743	200	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	市内バイオ産業の売上高(億円)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	958	684	967	730	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	(1)首都圏の健康医療系VC向けに、市内企業等の取組を紹介するウェビナーを開催(参加申込数195人)。札幌商工会議所会員企業向けに医療・ヘルスケアビジネス創出事業としてセミナーを開催(計3回参加者50人)。札幌商工会議所と協力し札幌が有する最先端医療技術を発信するフォーラムを開催(参加者73人)。 (2)BI分野の先進的な取組等を発信するウェビナーを開催(計2回参加者60人)。 (3)市内大学の研究者を対象とした起業家育成ワークショップを実施(参加者5人)。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	(1)(2)新型コロナウイルスの影響によりリアルイベントが制限されたが、オンラインによる配信も活用し、複数回のセミナー等を実施することが出来た。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	(2)事業の一部について、産学連携分野の支援ノウハウを持つノーステック財団が事業の担い手となって実施することで、効果的な運営がなされており、実施手法は適切である。 (3)分野横断的な人材育成につなげるため、STARTUP CITY SAPPOROの事務局を通じ業務委託により効率的に行った。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	(1)(2)ウェビナーに対するアンケートによると、回答者の概ね8割程度が満足またはやや満足と回答。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	フォーラム等のイベントは、共催機関と協議のうえ、開催形態を含めより効果的なものとなるよう検討し実施する				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	セミナーの内容について、ワークショップ形式による実践的な起業家育成の内容を取り入れた。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	イベントの参加機関数は目標とする指標を超えており、参加者の満足度も高い。イベントをきっかけとした次の取組が創出されるなど、産業振興に資する進展がみられる。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 セミナー等は継続実施し、道外を含めたネットワーク構築の充実のためのマッチング事業を検討。バイオ人材育成イベント等も行い、健康福祉・医療、バイオ分野の企業集積と人材育成のための新たな取り組みを検討する。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 新たな課題に対応すべく、事業内容を構築し、必要な予算を確保していく。		見直し効果額	0